

公開シンポジウム

判決を読み解く ～ 日韓会談 文書開示請求第3次訴訟～

日時：12月22日(土)午後1時半～4時半(午後1時開場)

場所：東京しごとセンター5Fセミナー室(JR・東京メトロ飯田橋駅下車
徒歩8分 メトロポリタンホテル隣)

参加費：500円

【テーマと報告者】

10・11判決の概要と歴史的意義

斉藤義浩弁護士(日韓会談文書公開請求訴訟弁護団)

強制動員真相究明と情報公開

小林久公氏(強制動員真相究明ネットワーク事務局長)

まだ公開されたというにはほど遠い日韓会談文書

李洋秀氏(日韓会談文書・全面公開を求める会事務局次長)

10月11日の日韓会談文書開示請求第3次訴訟一審判決は、「30年以上経過した外交文書をなお不開示とするには相当の理由が必要」と指摘し、不開示文書のおよそ7割の開示を命ずる画期的な判決でした。2000ページを大きく超える判決から明らかになること、そこに刻まれたメッセージを、植民地清算、戦後補償、情報公開、そして市民社会の発展等、多面的に「読み解」き、今後の課題を明らかにする。

日韓会談文書・全面公開を求める会

(共同代表：太田 修 田中 宏 吉澤 文寿)

〒165-0031 東京都中野区上鷲宮1-8-2山本方

(電話) 090-9204-7607 (FAX) 03-5241-9906

(メール) nikkanbunsyo2012@yahoo.co.jp

(ホームページ) <http://www.f8.wx301.smilestart.ne.jp/>

【会場案内図】



日韓会談文書・全面公開を求める会 2012年度総会

- (日時) 12月22日(土) 午前10時30分~12時(10時開場)
- (会場) 東京しごとセンター5Fセミナー室
- (内容) 10・11判決の意義と控訴審に向けた課題(弁護団)
 2012年度活動報告/決算報告(事務局)
 2013年度活動方針案/予算案(事務局)
 連帯あいさつ

「日韓会談文書・全面公開を求める会」への入会のご案内

「日韓会談文書・全面公開を求める会」は、韓国で2005年に日韓会談文書が全面公開されたことを受け、日本でも情報公開法に基づく全面公開を実現するために結成されました。2006年4月25日には日韓市民の連名で外務大臣に対して日韓会談文書の開示請求を起し、6次にわたり約6万ページの開示を実現させました。今は4分の1の墨塗り文書の開示を求め、3次に及ぶ裁判を取り組んでいます。ぜひ「求める会」にご入会いただき、ご支援をお願いします。

- (年会費) 3000円(年金受給者・学生は1000円)
- (振込先) 郵便振替口座 00820-7-102287
 加入者名: 日韓会談文書・全面公開を求める会